神奈川民医連 看護奨学生の会 2024年度 活動報告

2024年度の学習テーマ 「終末期看護」

「寄り添う」
～ここちよい場所で自分らしく最期を迎えるために私たちができること～

2023年3月の看護奨学生の会総会で、2024年度の学習テーマを「終末期看護」に決定。上記のスローガンもみんなで話し合って決めました。

1 フィールドワーク

「終末期看護」の学習の一環として実施。各事業所の役割を知り、終末期患者へのスタッフの関わりや事例を通して「寄り添う」の具体的な看護の実際を学ぶことができました。

体験施設

- うしおだ老健やすらぎ
- うしおだ在宅クリニック（訪問診療）
- なかはら看護小規模多機能ホーム
- 協同ふじさきクリニック（訪問診療）
- 戸塚病院（訪問診療）
- 訪問看護ステーションふかさわ

2 第1回 奨学生の会

8/24(土) 「緩和ケア」
講師は緩和ケア認定看護師。
（汐田総合病院副看護部長）

緩和ケア」について、“がんってなんだろう”“トータルペインについて”お話していただきました。講義後の事例検討とグループワークで学びを深めました。また、フィールドワークの報告交流で、緩和ケアを立体的に捉えることができました。

3 第2回 奨学生の会

11/30(土)
「終末期看護～在宅編～」
講師は訪問看護認定看護師。
（川崎医療生活協同組合訪問看護統括所長）

在宅で最期を迎えるために必要なことは、「在宅医や訪問看護などの医療チームの体制が整うこと」「医療と介護のチームの連携」であり、本人や家族もチームのメンバーとなり、困りごとや苦痛をみんなで考えて自由にディスカッションできる体制があることが望ましいと話されました。

ペアワークや事例検討、講義の感想交流で「在宅ターミナルケアのプロセス」や「チームでその人らしさを支える」について学習しました。

4 第3回 奨学生の会

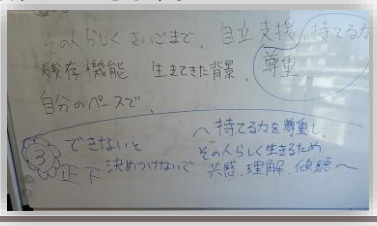
2025年3/20(木・祝)
「医師の視点から見た終末期について」
講師は戸塚病院外科医師。

終末期患者に対する治療についてや、患者・家族と信頼関係を築くことの大切さなどなかなか聞く機会のない医師の講義なので、学生からも積極的に質問や感想の声が挙がりました。他職種の視点から終末期を学ぶことができ、より学びが深まりました。アイスブレイクやグループワークを通して、学生同士の距離も近くなり、和気あいあいと活発な意見交換がされていました。

5 総会

2025年3/20(木・祝)
第3回奨学生の会の後

総会とは、今期の看護奨学生の会の活動をしっかりまとめ、次年度へつなげることを目的としています。みんなで話し合い、2025年度の学習テーマを「老年・認知症」に決定しました。スローガンは、「できないと決めつけないで～持てる力を尊重し、その人らしく生きるため　共感・理解・傾聴～」に決まりました。このテーマで2025年度は大いに、学びを深めていきます。



6 卒業おめでとうパーティー

2025年3/20(木・祝) 総会の後

総会後は、卒業おめでとうパーティーを開催。一人ずつ、卒業証書授与と記念品の贈呈を行い、卒業生からは奨学生活動を終えての感想をいただきました。「お絵描きしりとり」や「医療ビンゴ」など、グループみんな力を合わせて行うゲームも行いました。4月からは、各法人の新入職員となります。

お昼は豪華なハンバーグ弁当♪